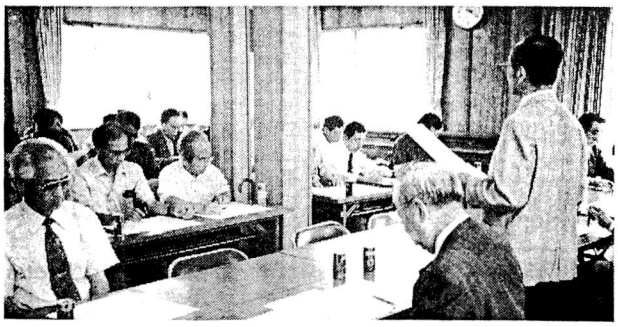
愛板

愛知県
愛板金工業組合
名古屋市昭和区
北山町3－8－6
電話　732-1226
発行広報委員会

理事・厚生委員合同会議開く

♤7月9日午後、県板事務所3F



8年度第1回目の理事会が厚生委員会と合同で開催された。会議は吉田事務局長の司会で開会され、平野理事長の挨拶に続き次の議題が審議された。

①共済制度の現況報告と加入促進

②組合加入金について

③国保担当役員について

④その他

①について平野理事長より次の様な報告並びに要望がなされた。まず平成7年度共済制度の募集結果報告書が示され、県板全体の加入率が45％にすぎないので少くとも50％に達する様各支部で努力してほしい。又、共済事務手数料の取扱いについて、7年度の事業収入に220万円を組入れたが、それを除いた積立額については加入一口当り1万円を支部に返す事が常務理事会において決定した。その金の取扱いについては各支部に委ねるが、できるだけ支部運営の資金として使ってもらいたい。

②について

現行2万円の組合加入金を徴収しているが、会計上この加入金は固定負債として処理され、このままでは固定負債が増加する一方である。この問題を解決する方法として、加入金を県板の会計に入れずに支部に入れる、又は加入金を徴収しない事等が考えられるが、それには定款の一部変更が必要になるので、これを次回総代会にて計りたい旨の報告がなされた。

③について

早川前専務が今まで担当していた国保役員に吉田事務局長を主たる代表として選任する。もう一人の役員は全板国保加入組合員の内より選出する旨提案され承認された。

④については次の様な質疑や報告がなされた。

(1)保証制度適用店の看板について……

今回の講習会で多くの適用店が出来たが、その数に見合う看板の在庫が無いので新たに作製する。

(2)国民年金基金加入促進について……

これについては別の会議を開きたい。

(3)行事予定の報告

技能プラザ　11月9・10日

能力開発促進大会　11月14日

名古屋祭り職人展　10月4～6日

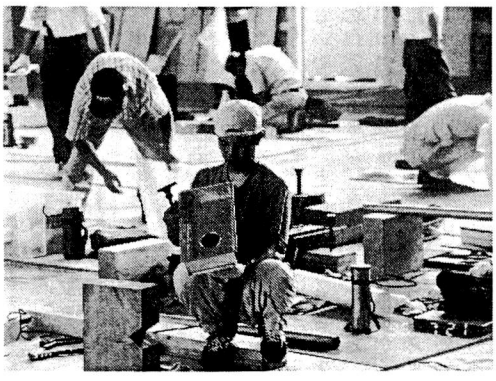
(4)フィージビリティ調査事業のまとめ冊子増刷について……

現在見積り依頼中である。

以上で審議を終え、村上副理事長の閉会の挨拶をもって会議を閉じた。

高橋

13年度技能検定実施　建築板金



7月21・22日岡崎地域職業訓練センターで建築板金・内外装板金作業の、実技試験と課題作品の審査が、行われた。

21日役員は、9時30分までに会場の準備を終え受験者の受け付けを開始した。

作業道具の搬入と点検をおこない平野理事長の励ましの言葉と石原検定委員長の挨拶があった。

検定委員の作業内容の説明と、岡崎高等技術専門校の竹本先生から1級の当日発表Xの寸法が発表され午前10時作業開始の笛でスタートした。

今年度の受験者は1級が30名、2級が31名で、約3分の1が学科と、実技、残りが学科免除者となっており、免除者のなかには前回の合格者と指導員免許習得者が含まれている。

課題作成の標準時間は、1級が4時間半、2級が4時間で、減点対象となる打ちきり時間30分が追加されている。

試験前の課題の練習においては、三河地区や、名古屋地区は訓練校を単位に講習会を行っているので作業進行も比較的に統一されていたが他の地区の受験者で標準時間より1時間も早かったり、打ちきり時間5分前に課題を提出するものもいた。

一宮地区では今回11名の受験者があったが組織的な指導体制が無く個人の力に頼っている、名古屋の講習会場に通ったものもいるが10名が3グループに別れて練習した。

日曜日は4回、人数が多いので鉄工所の工場を借りて全員の展開図、加工の講習を行った。

ボランティアなので応援を誰に頼んでよいかわからず一人で、検定の役員という立場上、練習場の設定から弁当の買い出しまでしていると細部の指導まで行き届かなかった。

佐藤

中部板金工業組合協議会
青年部総代会

中板協青年部の総代会は、平成7年度より会場が中部7県の持ち回りとなり第2回目を福井県担当とし平成8年7月14日(日)福井ステーションホテル(JR福井駅3階)にて午前10時30分より開会しました。総代28名中出席27名、委任状1名という参加内容で会議は成立しました。また、今回より富山県板青年部が参加し中部7県がそろうこととなりました。愛知県より、松井部長、河田副部長、神谷相談役、岩崎幹事、奥谷幹事の5名が出席しました。

福井県板青年部仲野副部長の司会進行で始まった総代会は、前田能孝福井県板青年部長の開会の辞、中板協青年部部長の桑原康成氏(三重)の挨拶の後、来賓紹介があり、中板協会長　宇野万木男(岐阜県板理事長)千秋勇(福井県板理事長代行)、山崎了介(福井県鉄鋼二次製品問屋協同組合理事長)の3氏が紹介され祝辞を述べられました。この後本年より参加された富山県板青年部部長の吉倉幸一氏が挨拶されました。

福井県板青年部会計須賀原氏田氏を議長に選出して議案審議に入り第1号議案(事業報告、決算報告)より順次可決承認されていきました。今回は特に平成9年度の事業として、平成10年2月に『第20回全国建築板金競技大会』が中部ブロック担当(静岡県)で開催されることが報告され各県の一層の連帯が望まれるとの事でした。また、メーカー展示が行われ銅板屋根材、雨どい金物等8社の参加が在りました。総代会終了後同じ会場で懇親会が出典メーカーも同席して開催され、途中各県参加者の自己紹介などがあり、和やかな雰囲気の内にお開きとなりました。

豊田　松井

技能検定

今年初めて、東三の補佐員として、技能検定に立ち合った。数年前は逆の立場だったので、いささかとまどった。10月3日(木)に合格発表されるが全員合格していれば、面目躍如であるが、他人に教えるむずかしさ、一定のレベルまでに、短期間で引き上げる、むずかしさ、等おもいしらされる。又、受験生に教えられる事もあり、自分の力不足感ありであった。

生意気を書かせていただきますが、検定を見てて、受験生諸君の柏木の使い方が「へた」である。機械化が進み、使わなくなっているのはわかるが、基礎が出来て、応用がきくと思う。また、道工具の手入れの悪さも目立つ、片づけに始まり、終わるのである。作業場から、道工具から、そして技術がともない金を生みだすのだから作業場はきれいに、道工具は手入れをするのが、初心なのです、忘れないように。

普段、ああいった経験は少ないと思う。いかに検定までにそなえておくかは、自分の責任である。図面はわかるまで書き、製品は30分余裕があるくらいまでに作るべきである。そこまで出来れば、緊張もかなり、やわらぐのではないか、検定の為の検定ではなく、仕事に応用してこそ、意義があり、自分の為なのです。検定員、補佐員の中年の皆様、中年は口より先に手を出すのは悪いクセです。我々はもう少し、若者の自主性を信じましょう。《模擬試験を見て》それよりも、我々の仕事は、せっかくもぎ取った、資格を充分生かせる場を作る事が、最大の仕事と思う。紙切れであってはならない。

受験生の諸君、検定員、補佐員のボランティア精神の上になり立っている事を忘れないで下さい。

皆様暑い中、ごくろうさまでした。

東三　吉田

四人目の子供

中学生と小学生の三人の子供がいる私に、突然四人目の子供ができました。それもインドネシアにです。〇〇ツアーに行った覚えはないのに……。と言うのは冗談ですが、今度フォスターペアレントに入会したのです。そして私のフォスターチャイルドがインドネシアのジョグジャカルタに住む、エルナジュミニティちゃんです。彼女は一九九五年二月二十五日生まれの一才半です。お父さんはムチノ、お母さんはステイネムの長女として生まれました。イスラム教だそうです。おじいさん、おばあさんも同居してます。彼女が十八才になるまでフォスターペアレントとして付き合います。十八才になると、援助は卒業となるからです。

フォスター・ペアレントに応募するきっかけは、日本経済新聞に広告が載っていまして子供三人と話し合い、正月のお年玉より年収の少ない人達がたくさんいる事、又、栄養失調でお腹が出る事、手を洗っても水がはじかない事など、子供達が正確に理解したかどうかは、わかりませんが、三人の子供が月三〇〇円(合計九〇〇円)ずつ、おこずかいから出し合う事を約束してくれました。残り四一〇〇円は私が出す事で合意し、フォスターペアレントに応募した次第です。希望国名はインドネシアにしました。というのも、私の会社にインドネシアの研修生を受け入れており、何かの「縁」を感じたからです。エルナの近況報告は又にしますが、フォスタープランの資料を見ると世界中でいかに援助を要する子供が多いか、日本がいかに豊かか、思い知らされます。五才以下で命を落とす子供の九十七%が発展途上国の子供達だそうです。マラリア、ジフテリア等、汚染された水が原因との事、日本では考えられない。「生きることは闘い」とあるが、そんな子供達に直接何かしてあげる事は出来ないが、月五千円ならと思う人たちが日本に五万人いるそうです。一九三七年スペイン内乱によって親も家も失った、大勢の戦災孤児を救うため、英国の二人のジャーナリストによる活動がはじまり、一九三八年米国にて組織化され、国連で承認されて、一九八三年日本フォスター・プラン協会が設立されたそうです。連絡先を記載します。

財団法人　日本フォスター・プラン協会
〒150　東京都世田谷区太子堂四―三―一
TEL　〇三―五四八一―六一〇〇
FAX　〇三―五四八一―三八一一
までどうぞ。

東三　吉田

▼新問屋シリーズ▲

愛知県亜鉛鉄板問屋会 会員会社紹介

広報委員会では「愛板」184号から問屋親睦会シリーズと題して六回連載したが一部の問屋さんだけで終わっている。

今回、日頃私たちのお世話になっている材料の供給先の亜鉛鉄板問屋会の会員会社二十七社を五十音順に順次紹介することとした。

第1回　株式会社 池田商店

㈱池田商店は名古屋駅から西へおよそ一キロくらいの則武本通りに本社がある。

社長は大正九年生まれの池田惣一氏七十六才である。惣一氏は中村区祢宣町の吉田商店で修行して若干二十八才にして昭和二十三年上笹島町に池田商店として独立開業した。当時は戦後の混乱した時代でトタンの商売も切符制であり大変苦労をして仕入れて、お得意様に届けていた。

得意先にはバケツ屋さんや衣装缶屋さんが多くこのバケツ衣装缶組合の協力により、出世払いでよいからと昭和二十七年現在地に移転した。三十一年には株式会社に、三十七年に現在の本社ビルを建設、四十六年には販売網の拡充にと大府営業所を開設、建築総合商社として業績を拡大してきた。愛板256号の「雨・屋根・水」を考えるで紹介したが当時はどこの店も扱わなかったクボタカラーベストを中部地方でいち早く取り扱うようになったのは㈱池田商店である。

社是を「誠意・熱意・創意」と掲げ社員一丸となっている。この様に常に前向きの姿勢で業界に先駆けている。加工部門も甚目寺倉庫に併設して得意先の要望に応えている。平成三年に甚目寺工場の西に新たに営業本部を建設、より一層の受注に応えている。

得意先との親睦にはSI研親会と言う組織があり例年新商品の勉強会隔年で一泊旅行で工場見学を行っている昨年度は阪神大震災のため取りやめとなったが今年度は長野県諏訪市の諏訪湖ホテルで会員百二十名の参加で総会を開催、翌日養命酒駒ヶ根工場を見学した。従業員の平均年齢は三四・二才と若く活気ある問屋さんで、今後も業界をリードする事が期待される。

以下に会社の概要を紹介する。

商号　株式会社　池田商店

本社　名古屋市中村区則武本通り一―三十三

営業本部　愛知県海部郡甚目寺町大字甚目寺字山王十六

大府店　大府市米田町二―九十九

創業　昭和二十三年

設立　昭和三十一年二月二十一日

代表取締役　池田惣一

資本金　四千九百万円

従業員　男子二十四名　女子十二名　合計三十六名

平均年齢三十四・二才

取引先　愛知県一円建築板金業者　約三百社

営業目的　一、カラートタンその他建築用資材の成型並びに販売　二、建設工事の請け負い　建設業許可番号（般―六）第24539号許可建設業の種類屋根工事業・板金工事業　以上

鷲見

池田商店「シンガポールの旅」

斎藤充昭

今回の海外研修は当初研親会の活動の一端として企画されたが、参加希望者を池田商店の取り引き業者全体を対象にして行った。

全観光・全食事付・五日間で十万七千円の格安料金で募集されたがPR不足もあって参加者は夫婦・兄弟・友人コンビ・一人参加など十三人にとどまったがかえってまとまりが良く気心も知り合った仲間同志で有った事も幸して終始和やかにシンガポールツアーを楽しむ事ができた。

一行十四人（JTB添乗員を含む）は六月十四日午前、名古屋空港を飛び立った。機体・機内サービス・接客など業界人気度No.1を誇るシンガポール航空九八一便は六時間のフライトで夕刻五時チャンギ国際空港に到着。民族衣装をまとったスチュワーデスの笑顔や行き届いた気使いに六時間のフライトもそれ程長く感じられない。現地ガイドの「ガンさん」の出迎えを受けバスでホテルに向かう。無事到着、旅の成功を祈りタイガービールにて乾杯、中華料理の夕食の後、全員で夜の街へ散策に出掛ける。

ホテルから歩いて五分位の所にシンガポール一番のメイン道路、オーチャド・ロードが有る。色とりどりのネオンや照明に照らし出された斬新なファッションビルやホテルが建ち並び、広い歩道には緑の枝葉が生茂った太い木々が照明に映えて何とも爽やか。明るい歩道ぞいには高級ブランド店からコンビニまで豊富な品々が観光客を引き付ける。道路にはタクシーや二階建バスが走り、歩道はショッピングや散策の人で賑やか。物売りや客引きもなく治安もいい。そして人で賑わっていながらゴチャゴチャしたところがなく、清潔感の溢れる街の姿が素晴らしい。

シンガポールでは、ゴミ・タバコの吸い殻・ガム・ツバを吐く・立ちション・ハエや蚊を発生させる不潔な事などすべて罰金。公共施設や公共機関内での喫煙など徹底した罰金美化政策である。ガンさんの案内で一日目の観光に出る。熱帯植物園で花を観賞、マウントフェバーに登りセントーサ島や活気に満ちた港を眺望、革製品店でバッグの品定をし、飲茶料理の昼食の後シンガポールのシンボル「マーライオン」像を見る。港の一角に設けられた公園の水辺にマーライオンが沖を眺めるように建っていた。頭がライオンで下が魚の尾をした想像動物でお土産などにデザインされて広く親しまれている。夕食後格式No.1のラッフルズホテルのロングバーでピンクのカクテルを楽しむ。つまみに出る塩味で小指の先位の殻付き落花生をかじる。お替り自由、剝いた殻は下に捨てる、だ

から床は殻だらけ。この殻を客が踏むから殻の油脂が木の床に染み込んで為にいいとか。発想が面白い穴場の一つである。

翌日は橋一本渡った隣の国マレーシアへ行く橋の上は出入りの車で大渋滞。入国審査を経て果樹園の中で民族舞踊や音楽を聞き、食べ放題のバナナとカレーの試食をした後、イスラム教寺院を見学、白色の大きな寺院は見応があるが敷物やニセ物時計の物売りが多くうるさいこと。この夜は郊外の夜行性動物園ナイトサファリとニュートンサーカス屋台街へ寄る。星空の下で好きな物が割安で食べられ好評。観光四日目は二階バス・タクシー・地下鉄・ロープウェイを体験利用してリゾート地セントーサ島へ。博物館水族館戦争史料館やホテル白い砂浜も完備して太陽が眩しい。最後の夜はマンダリンホテルでディナーショーを見ながらさよならパーティーを開き翌日帰国。紙面の都合で書き足らないのが残念。

後日の反省会に招いた添乗員の児島小夜子さんがバリ島にどうしても連れて行きたいと言う希望を来年あたりかなえる事に全員一致した。

西尾支部だより

例年にない雨の多い今年の梅雨の晴間の6月27日、日帰りコースで「日間賀島へのグルメ」と称して、9事業所の奥様を主役で参加同志のおしゃべり、チャンスとばかり話がはずみ時の過ぎるのも早く、なごりおしく帰りの時をむかえた。道中、干物売りのおばちゃんのかけ声にイルカも姿をのぞかせて和やかなうちに無事、行事を終了した。

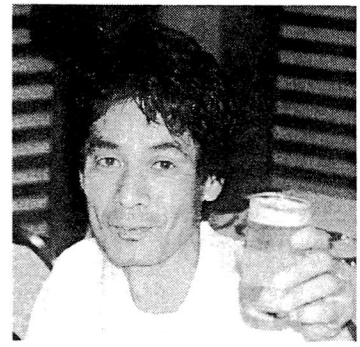
日頃組合員同志は、組合活動、組合青年部時代からの付き合い、仕事の関係等では仲の良い西尾支部ですがこれまで奥様同志はそんな折もなく機会をもうけてほしいとの声があがり今回は2回目の企画となった。参加人数も4名増えました。子供の小さな奥様もみえて参加するのも大変な事と思いますが今後ともこのような会が西尾支部で喜こばれて続くことを心から願います。

山崎

しに舌づつみ、お酒にビールとくればカラオケも始まりデュエットも何曲か出て、普段は話す機会の少ない奥様

愛板ゴルフコンペ

愛板ゴルフコンペが七月十一日、岐阜県の山岡カントリークラブで各地区より四十六名が参加して開かれた。当日は天気にも恵まれ絶好のゴルフ日和であった。スタート前には江南支部の滝幹事より挨拶があり、それぞれ闘志を胸にプレーに熱中、又楽しみながらの中十五番ホールで豊田地区の、河合澄夫氏がホールインワンの快挙を成し遂げた。おまけにこのホールはゴルフ場よりキリンビール一年分がついており本人はただビックリで「泡」てました。



◀河合澄夫氏

表彰式には多忙の中平野理事長もかけつけ挨拶を頂いた。皆様よりお祝いの言葉や、祝宴に参加頂き大変盛り上がった。

今回参加者全員がハッピーな気分になりとても良いコンペだった。

優勝　加藤富生(昭和)
二位　野村雅宣(稲沢)
三位　西俣　章(豊田)

7月各支部の動き

昭和支部
8日　支部例会15名

中村支部
23日　支部定例会

中支部
6日　7月常会15名
共済制度の現況報告と加入促進

一宮支部
23日　青年部例会
24日　支部役員会
18名

尾張板金連合会
1日　名古屋航空宇宙システム　三菱重工業見学

小牧支部
1日　右記見学6名

春日井支部
1日　三菱重工見学
5名
8日　定例会　17名
23日　役員会　4名

碧南支部
22日　太子講及び会議　共済制度の現況と戻し金の取りあつかい

豊田支部
13日　第4回役員会
建設連合会板金支部会議　20名

刈谷支部
7日　家族親睦ボーリング大会45名

幡豆支部
16日　青年部定例会
10名
26日　支部定例会

知多支部
26日　支部理事会
13名

東三支部
2日　定例会　18名
24日　三役会　6名
30日　訓練校・支部及び青年部合同懇親会　15名

編集後記

スポーツの祭典アトランタ・オリンピック。開催国アメリカ色を強く打ち出した感動の開会式から一週間、前半戦の水泳・柔道など各種競技もほぼ終り中盤戦に向けて益々白熱化しようとしている。

マスコミ各社も、より早い情報伝達機能技術が進み連日の熱戦の様子や結果が大きく紙面や画面に踊って、日本選手の入賞に期待を持たせる。テレビも二十四時間体制を組み通信衛星を使い、真夜中の同時実況放送もされついこれに熱中して連日の熱帯夜も重なり睡眠不足になる人も多いとか。五輪には「参加する事に意義がある」と言われる。しかし出場選手に選ばれた以上メダルへの思いはすべての選手皆同じである。今の社会やマスコミは入賞の期待を懸け過ぎるのでは無いだろうか。この日のために青春を懸けた選手は外圧に負けず花の舞台で楽しく精一杯競技して貰いたい。

七月三十日(火)　晴
三〇八号編集会議
委員　五名　出席
午後五時終了　(S)